

北広島 商工会 だより

平成31年3月1日号
第109号

会員の状況
(部会の重複加入あり)

会員	769名 (+ 2、- 3)
商業	462名 (+ 1、- 2)
工業	362名 (+ 1、- 1)
青年	61名 (+ 0、- 0)
女性	55名 (+ 0、- 0)

※+加入人数、-脱退人数

発行 北広島商工会事務局
責任者 事務局長 浜田 薫
〒061-1121
北広島市中央5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212
shokokai@kitahironavi.or.jp
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

青年部(部長 西尾 広美)

しての交流会も実施していると説明を受けました。
福岡市の人口は150万人、広島市は120万人の大都市ですが、会議所・商店街の方は「地域全体が一丸となってチームを熱く応援し、そこに支えられて強くなっていく姿。そしてチームが強くなるとファンは必ずついてくる」と口をそろえて説明をしていたのが印象的でした。

■新年交礼会 〜名刺交換・異業種交流が 活発に行われました〜

1月11日、札幌北広島クラッセホテルで当商工会主催の「新年交礼会・大名刺交換会」を、上野市長を始め、小岩道議会議員、佐藤市議会議長、会員、関係機関等213名の参加で、開催しました。



冒頭、藤山会長は、「昨年9月に発生した台風21号および胆振東部地震による災害で被災された方の早期復興と北海道経済の早期回復を願っている」、「北海道日本ハムファイターズボールパークの建設が本市に決定し、夢のある計画への期待と商工会として計画推進に積極的に協力していく」、「今年度の新会員加入は12月末で38事業者で、例年を大幅に上回っている」、「本年は当商工会創立50周年であり、記念式典、記念事業等を実施する」などを挨拶で述べました。

新会員紹介では12事業所が自社をPR。企業PRコーナーには8事業所が出展しました。約1時間30分の限られた時間でしたが、活発な交流が行われ、最後は株式会社日本政策金融公庫札幌支店国民生活事業統轄井上健康の三本締めで賑やかに会が閉められま

した。
新年交礼会は、平成20年から毎年1月に開催していますが、ここ数年200名以上の方に参加いただき、交流の輪が広がっていると感じているところです。

■地域にぎわい応援事業 〜冬の大会〜

今年度で3回目となった地域にぎわい応援事業は、103事業所の参加で昨年12月中旬から本年1月中旬までの約1ヶ月間実施しました。

参加店での買い物千円ごとに応募シールを一枚受領し、希望賞品分のシールをハガキに貼って応募する方法も浸透したようで、昨年より3,835通多い16,856通と、3年間で一番多い応募数でした。



抽選会は、雪まつり会場で2月3日に実施。特賞3本(現金10万円)、A賞10本(5万円相当の家電製品又は商品券)、B賞20本(3万円相当の家電製品又は商品券)を上野市長、藤山商工会長、竹村商業副会長に引いてもらいました。C賞(1万円分の商品券)、D・E賞(お楽しみギフト)は、翌日、商工会館で市役所経済部職員立会いのもと実施。当選者への賞品発送も終わっています。

なお、賞品として発行した商品券の換金は3月22日(金)までとなっています

ので、参加事業所につきましては、期日までに回収した商品券の換金をしてください。

商業部会(部会長 鈴木陽一)

●球団と地元商店街・会議所との 連携などを視察

昨年10月、日本ハムボールパーク建設予定地が本市に決定したことを受け、球団と連携する福岡市・広島市の商店街、商工会議所を2月18日〜20日に12名で視察しました。

ソフトバンクホークスの本拠地がある福岡商工会議所では、球団との共同企画としてシーズンを前期と後期に分けて特割チケット(前期は平日指定席引換券1セット8枚綴りと後半戦回数券2枚付き)を1万円で販売。会議所では販売額の10%が手数料収入となり、昨年は約二千冊を取り扱ったとのこと。新年交礼会には球団関係者も出席してもらい、交流を図っているそうです。宮崎春季キャンプには会議所役員が激励に行くとのことでした。

また、行政・金融機関・商店街などで構成している西新発展協議会も視察。球団と連携し、5つの商店街を総称する西新商店街主催の歳末の売出しでは、300店以上の事業所が参加し選手のトークショー招待券が当たる抽選券を配布しています。50名の当選者ながら毎年大人気とのことでした。

広島東洋カープの地元、広島商工会議所では、中国新聞社が主催する優勝パレード実行委員会の構成組織となつて運営に協力。市・議会・球団関係者を招待

●児童23名が販売体験

北広島ベンチャーキッズ事業
2月2日、第33回ふれあい雪まつり会場で、北広島ベンチャーキッズを實施。市内小学校高学年の児童23名が販売体験と決算報告会をしました。



この事業は、子供たちに会社の設立から仕入、販売、決算等の模擬体験を通して、行動力や協調性、自立心を養ってほしい、将来の地域商工業の担い手を育成する目的で実施しています。

昨年12月から今年1月にかけて3回の児童会議を開催。児童はAからDの4班に分かれ、流通の仕組みや接客などについて勉強しました。班ごとに販売商品を考え、A班がからあげ棒、豚汁、B班が炭焼きチキン、うどん、C班がおで

新会員紹介

〈商業部会〉
(株)サンエコ

田口 登 様
大曲緑ヶ丘4-3-8

〈工業部会〉
(株)アサヒクリエイト

山本 義一 様
大曲工業団地4-5-3

◆確定申告会のご案内◆

平成30年分の所得税および復興特別所得税・贈与税の申告納税は、3月15日(金)、個人事業者の消費税および地方消費税の申告納税は4月1日(月)までとなっています。

当会では、税理士による相談日を設けるとともに随時職員も相談に応じていますので、まだ申告されていない方はお気軽にご相談ください。

・税理士による相談日

3月4日(月)、5日(火)、8日(金)、12日(火)、13日(水)、14日(木)
10時〜16時(12時〜13時は昼休み)

・当会職員による相談日

随時(平日8時45分〜17時30分)

◆協会けんぽ北海道支部からのお知らせ◆

＜平成31年度保険料率改定について＞

平成31年3月分(4月納付分)から健康保険料率は10.31%(プラス0.06ポイント)、介護保険料率は1.73%(プラス0.16ポイント)となります。健康保険及び介護保険料率の引き上げに関しまして、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

＜「健康事業所宣言」をはじめませんか？＞

協会けんぽ北海道支部では、加入者のより一層の健康づくりを推進するため、北海道健康増進計画「すこやか北海道21」と連携して健康経営に取り組むことを宣言した事業所を認定して、サポートする「健康事業所宣言」を行っています。実施要領、お申込み方法は協会けんぽ北海道支部ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

全国健康保険協会(協会けんぽ)北海道支部 011-726-0352(代表)

ん、マシユマロ入りココア、D班がフ
ライドボテト、コインスロープに決定。
その後、事業計画書作成、運営資金調
達なども考え準備をしました。

●本番の販売体験では、児童たちは開
店と同時に大きな声でお客さんを積極
的に呼び込んでいました。班の中に
は、約4時間の販売時間内に完売させ
るため値下げをするなど工夫を凝ら
し、商品はほぼ売り切ることができま
した。

販売終了後、石狩教育研修センタ
ーでの決算報告会では、各班が売上金額
や利益、うまくできた点や反省点につ
いて発表。当初計画した金額に達しな
い班もありましたが、どうすれば自分
達が考えた商品が売れるのか一生懸命
考えたり、終わってからどうすれば良
かったのかを考える姿に、児童の成長
を感じることができました。

●キタヒロケットチャリティー贈呈式
昨年7月に開催した「KITHIROCKET
2018」の収入の一部から、市内小学
校8校と北海道札幌養護学校共栄分校
の1年生約460名に色鉛筆を贈呈し
ました。



毎年、市内8小学校のうち1校に訪問しており、今年度は2月4日に北の台小学校で贈呈式を実施。西尾部長から児童全員へ「色鉛筆」を手渡す。

渡し、児童からは元気よく「ありがとう
ございます」とお礼の言葉をもらいま
した。「KITHIROCKET
(キタヒロケット)2018」は、この
贈呈式で本年度事業を終えることが
できました。皆様からの協賛等様々な
サポートをいただき開催できましたこ
とに改めて感謝申し上げます。

●視察研修 道内企業を視察訪問
2月12日、13日に部員8名の参加
で、釧路市のミルキークラウン乳業(株)
と食肉工房よしやすを、視察研修しま
した。

ミルキークラウン乳業(株)では、「事
業拡大の手法と社会貢献活動につい
て」というテーマで説明を受けまし
た。同社は、牧場と生乳工場を持って
おり、低温殺菌処理した原料を使用し
たソフトクリームを北海道で初めて移
動販売車で売りました。消費拡大、P
Rのために釧路市内で開催されている
「しらかば青空マーケット」など、イ
ベントにも積極的に出店しています。
ほかにも、いちごが入ったアイスを販
売する際に、近郊農家の方の「果物そ
のものの素材を生かしてほしい」とい
う要望をかなえるため試食を重ねたと
商品開発にかかる努力についても聞く
ことができました。

また、社会貢献活動では、創業当初
から福祉施設や老人介護施設への出張
販売を定期的に行っており、搾りたて
の生乳で作った美味しいソフトクリ
ームを施設入所者に届ける取組みに参
加者一同、感銘を受けました。

2日目は、食肉工房よしやすを視察
し、「事業承継と販路拡大の取り組み
について」をテーマに説明を受け、も
のづくり補助金、持続化補助金の活用
事例についても聞くことができました。
自社商品をブランディングする手
法やその知恵は、道青連主催の商品力
強化支援研究会などに参加して得られ
たとのこと。工場見学では、釧路新名



物「よしやすぶたまん」の製造工程などを見ることができ、袋詰め作業も体験させてもらいました。

先進事例の取り組み

を直接聞くことができ、事業経営の参
考となる有意義な研修となりました。

女性部(部長 根岸 敏子)

●元気で健康的な生活を
長くつづけるために

2月12日に北広島市健康福祉部高齢
者支援課の宮本主査を講師に招き、懇
談会を開催。「健康寿命延伸の取組み
や介護の対応について」をテーマと
し、13名が参加しました。

全国の平均寿命は男性で80.8歳、
女性で87歳と年々長くなっています。
北広島市だけで見ると男性81.0歳、
女性88歳と全国38位とのこと。この
平均寿命は0歳児が今後どれだけ生き
られるかという平均余命を示している
そうです。

近年、「人生100歳時代」とよく
聞くようになりましたが、その中で注
目されているのは「健康寿命」です。
この健康寿命は日常的・継続的な医
療・介護に依存しないで、自立した生
活ができる期間のことです。寿命が延び
る中、できるだけ健康的な期間を延ば
す取り組みが注目されています。



健康寿命を延ばすのに大切なことは①バランスの取れた食事②適度な運動③休息の3つ。急に運動を始めようとすると何をしていいかわからないと良い

かわからないとか、一人だと継続でき
ない方に、市ではサークル団体をま
めて紹介しています。激しい運動をす
るのではなく、参加者と交流し楽しむ
ことでのいろいろな場に出て行くこと
ができることでした。
元気に過ごせるのが一番ではありません
すが、平成29年に全国で介護認定を受
けた方は592万人。介護認定を受け

平成30年度被災地域販路開拓支援事業 小規模事業者持続化補助金 (北海道胆振東部地震対策型) 公募開始のお知らせ

この補助金は、小規模事業者で北海道胆振東部地震の被害(影響)があった方を対象とするもので、平成29年度補正(北海道胆振東部地震対策型)に続き、公募は2回目となります。

募集期間等については次のとおりですので、ご不明な点等は当商工会事務局にお問い合わせ願います。

1. 募集期間 平成31年2月5日(火)～平成31年4月10日(水)【当日消印有効】
2. 補助対象者 小規模事業者であること
道内に所在する事業者であること
胆振東部地震の影響を受けた事業者であること
・直接被害があったことが客観的に証明できること
・地震に起因して売上減少したことが客観的に証明できること(平成30年9月または10月の1ヶ月間の売上と前年同月または同期と比較して減少していることが試算表等で確認でき、北広島市から証明を受けることが必要です)
※詳しくは公募要領でご確認願います
3. 公募要領等 ホームページからダウンロードしてください。
<http://www.shokokai.or.jp/>

※小規模事業者の定義

商業・サービス業(宿泊業・娯楽業除く) : 常時雇用する従業員数 5人以下
サービス業のうち宿泊業・娯楽業 : 常時雇用する従業員数 20人以下
製造業その他 : 常時雇用する従業員数 20人以下

※申請するには当商工会の確認等が必要となります。他の業務で対応できない場合がありますので、あらかじめご了承願いますとともに、お早めにご相談願います。

を毎年6月に更新しており、サークル
団体や市内の高齢者住宅などの情報を
まとめて冊子にし、配布しています。
部員もまだまだ元気ではあります。が、
家族や自分が介護を必要としたときに
どうすれば良いのか、真剣に話を聞いて
いました。

る要因の1位は脳卒中、2位が認知症
とのこと。もし、介護が必要になった
場合には、「まず市内に4つある高齢
者支援センターに相談して欲しい。相
談してから、その人に合った自立支援
を行うケアプランを作成する」とのこ
とでした。
北広島市では高齢者サービスガイド